

# 【史跡】



**20 大門大塚古墳・出土遺物** 高尾  
平成5年3月26日  
県指定文化財史跡

直径27.0mの円墳。埋葬施設は、円礫積み横穴式石室で、銅鏡、1字鏡板付簪、剣菱形杏葉、楕円形鏡板付簪、玉類、須恵器が出土。6世紀前半ごろの築造。

説明板あり。浅羽郷土資料館に一部展示。



**76 十二所居館** 諸井  
平成10年1月27日  
市指定文化財史跡

袋井市諸井の心宗院を中心とする一帯に残る土豪の館跡。13世紀後半から数度の改修を経て、16世紀の後半まで断続的に利用されている。南北約105m、東西約85mの規模を有す。

説明板有り。



**79 小笠原氏清供養塔** 浅名  
平成17年1月28日  
市指定文化財史跡

馬伏塚城主であった小笠原氏清の供養塔で、天正4(1576)年に改葬された際に造られたと伝えられる。高さ155cm。幅54cmの五輪塔。



**18 五ヶ山 B2 号墳出土遺物** 浅名  
平成15年3月12日  
県指定文化財考古資料

長辺34.0m、短辺29.0mの二段築成の方墳。墳丘には葺石と埴輪が巡る。木棺直葬の埋葬施設の周囲からは、漆塗りの盾が3点発見され、棺内からは三角板革綴短甲・胄・肩甲・頸甲、鉄劍、鉄刀、やりがんな、斧等多数出土。棺外からは、鉄製鉾や鉄鎌が出土。5世紀中ごろの築造。

浅羽郷土資料館に一部展示。



**21 大野命山・中新田命山** 大野・中新田  
平成19年3月20日  
県指定文化財史跡

延宝8(1680)年に東海地方を襲った台風の後、大きな被害のあった大野・中新田地区の人々によって造られた避難所の機能を持つ塚である。大野命山:長辺38m×短辺24m×高さ4m。中新田命山:長辺35m×短辺26m×高さ5.5m。

説明板あり。駐車場2台(中新田命山)。



**74 馬伏塚城跡** 浅名  
昭和55年11月3日  
市指定文化財史跡

戦国時代の城で、高天神城の攻防に際しては、武田方に対抗する徳川方にとって重要な拠点であった。城主は、小笠原長高(1544年歿)から、高力清長(1582年駿河国田中城へ)まで、7人の名がある。

説明板あり。

**73 源朝長墓** 友永

昭和54年10月1日  
市指定文化財史跡

平治元(1159)年に平治の乱で平清盛に敗れた源義朝らは、東国へ落ち延びる途中、次男朝長(源頼朝の兄)は、矢傷を受け岐阜県大垣市青墓で自害した。従者の大谷忠太は、朝長の首を自らの故郷袋井市三川へ密かに持ち帰ったと伝えられる。

説明板あり。駐車場5台。



**72 久野城址** 鷺巣

昭和54年10月1日  
市指定文化財史跡

明応年間(1492~1501)ごろに、久野宗隆によって築城されたと伝えられる。丘陵先端部を切断し、東西南方向に堀を巡らしている。城内には、堅堀、土塁、井戸などが残る。久野氏・松下氏と城主が遷り、北条氏重を最後に、正保元(1644)年廃城となる。

説明板あり。WC。駐車場15台。



**78 古新田遺跡** 浅羽  
平成17年1月28日  
市指定文化財史跡

浅羽東小学校建設に先立って発掘調査が行われ、企画性を持つ建物群が発見され、居館域・倉庫域・竪穴住居域などから構成されていることが明らかとなった。その後の調査により、四面庇建物も発見されている。

**77 浅羽佐喜太朗公紀念碑** 梅山

平成10年7月31日  
市指定文化財史跡

袋井市梅山の常林寺に立つ。高さ2.27m、幅0.89mの石碑。浅羽佐喜太郎の威徳を偲ぶため、旧東浅羽村の人々と、ベトナム独立運動の指導者のひとり、ファン・ボイ・チャウによって大正7(1918)年に建立。

説明板あり。駐車場5台。

**75 万松院の切支丹灯籠** 梅山

昭和56年11月3日  
市指定文化財史跡

キリスト教の弾圧の厳しかった江戸時代に、キリスト像を模した灯籠を造って密かに信仰を続けた。石材は、兵庫県赤御影石。復元高約1.6m。

説明板あり。



# 【考古資料】



**56 管玉** 浅名

昭和17年1月28日  
市指定文化財考古資料

北山遺跡1号墓より262点出土。緑色凝灰岩を中心に、鉄石英の材質。弥生時代中期ごろ。

浅羽郷土資料館で展示。

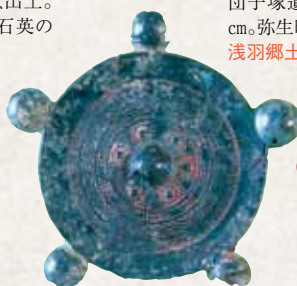


**57 鉄剣** 浅名

平成17年1月28日  
市指定文化財考古資料

団子塚遺跡D地点の1号周溝墓より出土。全長34.0cm。弥生時代後期ごろ。

浅羽郷土資料館で展示。



**55 五軒平古墳出土五鈴鏡** 愛野

昭和57年2月8日  
市指定文化財考古資料

愛野地内より開墓中に発見。直径8.8cm、周囲に5個の鈴が付く。青銅製。古墳時代後期。個人蔵/非公開。

# 【無形民俗】



**69 木原大念仏** 木原  
昭和56年3月5日  
市指定文化財無形民俗

天正6(1578)年、高天神城の侍であった篠田源五が、木原で非業の死を遂げた。その霊を慰めるために始められたと伝えられ、毎年8月のお盆に行われている。



**71 岡山山の神祭り** 浅名  
平成7年1月28日  
市指定文化財無形民俗

毎年12月8日の早朝に、山の神の化身となった袋井市浅名岡山地区の小学生が、笹竹を持ちながら、集落全戸を清めて回る神事。



**68 源朝長公御祭礼** 友永  
昭和54年10月1日  
市指定文化財無形民俗

毎年8月15日の夜、平治の乱で悲運の最期を遂げた源朝長の霊を弔うために、御沙汰神社から積雲院までの間で行われている。

**源朝長**  
源朝長は平安時代末期の武将。源義朝の次男。頼朝・義経は弟。16歳という短い生涯を閉じた朝長は岐阜県大垣市に葬られました。敵に墓をあばかれ京でさらし首にされてしまいます。朝長の守役であった大谷忠太は首を奪い返し、自分の故郷の地に埋葬したのだといわれています。

# 【有形民俗】



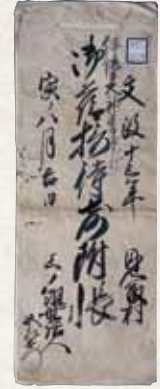
**66 橋逸勢供養塔** 上山梨  
昭和62年5月11日  
市指定文化財有形民俗

嵯峨天皇・弘法大師(空海)とともに「日本三筆」と呼ばれる橋逸勢の供養塔。承和の変(842年)で、謀反を起こし伊豆に流される途中病死した。



**64 長泉寺薬師如来立像附 遠江四十九薬師像** 深見  
昭和62年5月11日  
市指定文化財有形民俗

他に類を見ない小形の四十九薬師像である。像高37.0cm。非公開。



**65 伊勢大神宮 おかげ御陰接待寄附帳** 見取  
昭和62年5月11日  
市指定文化財有形民俗  
文政13(1830)年の、伊勢神宮へのお陰参りのことが記されている。非公開。



**67 六十六部 日本廻国納経帳** 小山  
昭和62年5月11日  
市指定文化財有形民俗  
袋井市小山の大有が元文4(1739)年に、全国122社寺を回り奉納した納経帳。個人蔵/非公開。

**橋逸勢**  
橋逸勢は平安時代の書家。延暦23(804)年に最澄・空海らと遣唐使として唐に渡りました。唐では「橋秀才」と称されたといわれています。現在、橋逸勢の書と明確に確認できるものは残っていませんが、「三筆」の一人であることは大変有名です。

# 【建造物】



**23 白山権現社** 高尾  
昭和51年9月21日  
市指定文化財建造物

赤尾洪垂神社内にあり、天正16(1588)年と、嘉永2(1849)年の棟札が残っている。駐車場20台。



**24 雲谷寺東司** 大谷  
昭和60年3月19日  
市指定文化財建造物

この東司(トイレ)は、棟木に残る墨書によると、寛政8(1796)年に建立されたことがわかり、当初は本堂南東前方にありました。説明板あり。駐車場10台。



**26 建福寺薬師堂** 川会  
平成6年3月28日  
市指定文化財建造物  
貞享4(1687)年の修理記録をもつ入母屋造の三間堂。



**27 旧澤野医院** 川井  
平成11年4月23日  
市指定文化財建造物  
幕末から昭和初期にかけて建築されたと推定され、木造洋風二階建ての病棟と、木造和風平屋建ての居宅などからなる。文化財ビデオ第14集「澤野医院記念館一解説ビデオ」。土日祝日閉館。説明板あり。WC。駐車場8台。

# 彫刻



**32 聖観世音菩薩** 浅羽  
 昭和57年11月3日  
 市指定文化財彫刻  
 岩松寺の本尊で、平安時代末期の特徴をあらわす。ヒノキ材の一木造りで、像高95.0cm。60年に一度開帳される秘仏(次回は2014年の予定)。説明板あり。



**33 不動明王二童子立像** 浅羽  
 平成13年11月1日  
 市指定文化財彫刻  
 平安時代末期の特徴をあらわす。寄木造りで、中尊不動明王の像高132.0cm。非公開。



**35 阿弥陀如来坐像** 梅山  
 平成17年1月28日  
 市指定文化財彫刻  
 ヒノキの一木造り。像高31.8cm、平安時代後期の特徴を持つ。

**34 阿弥陀三尊像** 浅名  
 平成13年11月1日  
 市指定文化財彫刻  
 鎌倉時代中期の作風を伝える。中央の阿弥陀如来像は、像高53.5cmで寄木造りである。右脇侍は、観世音菩薩像、左脇侍は勢至菩薩像。



**30 薬師如来立像** 川井  
 昭和58年12月22日  
 市指定文化財彫刻  
 像高約125cm。鉄鑄製で、鎌倉時代中期ごろの作と推定され、県内唯一の鉄仏である。説明板あり。

**31 長泉寺薬師如来立像** 深見  
 昭和60年3月19日  
 市指定文化財彫刻  
 像高39cm。鎌倉時代後期の作と推定される。久野城主・久野宗成の念持仏とも伝えられる。非公開。



**37 十一面観音坐像** 富里  
 平成17年1月28日  
 市指定文化財彫刻  
 富里王子神社の本持仏であったが、神仏分離で松秀寺に移された。カヤ材の一木造りで、像高42.5cmである。室町時代の特徴を示す。

**36 獅子頭** 富里  
 平成17年1月28日  
 市指定文化財彫刻  
 ヒノギ造り。長さ33cm、高さ27cm。正保3(1646)年に、長田庄司によって補修されたことが記されている。非公開。



# 工芸品



**14 梵鐘(正福寺)** 上山梨  
 昭和31年10月17日  
 県指定文化財工芸品  
 この梵鐘は当初、遠州橋本教恩寺(新居町)にあり、文明6(1474)年に鑄造された。その後、天正12(1584)に森町一宮から移したことがわかる。説明板あり。駐車場3台。



**39 古瀬戸黄釉瓶子** 新屋  
 昭和51年9月21日  
 市指定文化財工芸品  
 昭和49年に鶴松遺跡より出土。鎌倉～室町時代に愛知県瀬戸窯で焼かれた施釉陶器。非公開。



**42 鱧口** 浅羽  
 昭和58年11月3日  
 市指定文化財工芸品  
 室町時代の特徴を持ち、直径15.5cm、厚さ4cmである。青銅製で、片面の鑄型により、表裏二面を青銅で鑄造している。個人蔵/非公開。



**16 岩松寺の鱧口** 浅羽  
 昭和31年10月17日  
 県指定文化財工芸品  
 大永2(1522)年に製作し、遠江国分寺薬師堂(磐田市)に奉納したものである。非公開。



**40 用行義塾版木** 広岡  
 昭和56年3月5日  
 市指定文化財工芸品  
 明治6(1872)年に発校した「久津部村用行義塾」の、規則や学習要項を刻した版木である。袋井東小学校蔵。非公開。

# 天然記念物



**81 梅山八幡神社の森** 梅山  
 昭和60年11月3日  
 市指定文化財天然記念物  
 森の広さ約4.600㎡の中に、シイ・タブノキ・クスノキ・ユズリハ・クログネモチなど約35種の樹木が繁っている。市内では、油山寺・尊永寺境内の森とともに、「静岡県のお宮の森・お寺の森100選」(昭和62年選定)に選ばれている。説明板あり。駐車場5台。



**80 大頭竜神社のまき** 広岡  
 昭和52年1月12日  
 市指定文化財天然記念物  
 大頭竜神社の西側に立つ樹高約14mの槇で、樹齢約350年と推定される。



**82 槇の木** 松原  
 昭和60年11月3日  
 市指定文化財天然記念物  
 袋井市松原の個人宅に自生する目通り2.5m、樹齢約300年の巨木。説明板あり。



**83 イマメの木** 松原  
 昭和60年11月3日  
 市指定文化財天然記念物  
 袋井市松原の個人宅に自生する目通り1.7m、樹齢約150年の巨木。説明板あり。

# 【絵画】



29 用福寺積迦涅槃図 上山梨  
平成6年3月28日  
市指定文化財絵画

正徳4(1714)年作成。「遠江周智郡上山梨中町住藤下又四郎守房」の墨書から、地元の絵師により描かれたことがわかる。タテ158.0cm×ヨコ190.0cm。非公開。



28 蜀棧道 下山梨  
昭和53年11月9日  
市指定文化財絵画  
袋井市平宇に生まれた足立雪山(1845~1921)が、大正6(1917)年に制作した。個人蔵/非公開。

# 【書跡】



43 孝経 豊沢  
昭和53年11月9日  
市指定文化財書跡  
袋井市村松の油山寺に生まれた書家・川村驥山(1882~1969)の作品で、約1時間半で流れるように暗書したと伝えられる。個人蔵/非公開。

# 【古文書】



50 徳川家七ヶ条定書 新屋  
昭和58年12月22日  
市指定文化財古文書  
天正17(1589)年、徳川家康は農民支配の統一した基準として、一斉に交付した。この定書は、「深見郷」に宛てたものである。非公開。



47 堤上置道置土についての裁定書 小山  
昭和53年11月9日  
市指定文化財古文書  
元禄元(1688)年に出された本状には、小山村と土橋村のあいだで起こった論争の裁決文である。非公開。



49 辰年宇刈馬谷村可納御年貢割付の書状 宇刈  
昭和58年12月22日  
市指定文化財古文書  
慶長9(1604)年に行われた遠州総検地の一環として、宇刈馬谷村で行われた検地(田畑などの面積を計測すること)に関する書状である。個人蔵/非公開。



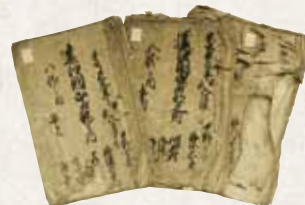
54 拾歩耆御朱印状~徳川七ヶ条御定書~ 梅山  
昭和56年11月3日  
市指定文化財古文書

天正17(1589)年、徳川家康は農民支配の統一した基準として一斉に交付した。この定書は「梅田村」に宛てたものである。



51 文化六年菩提新田已改茶畑検地帳 文化十三年菩提新田子改茶畑検地帳 豊沢  
昭和58年12月22日  
市指定文化財古文書

文化6(1809)年と、文化13(1816)年の茶畑検地帳で、一筆ごとに畑・間数・面積などが記されている。個人蔵/非公開。



46 遠江国山名郡川井村水帳 川井  
昭和49年10月24日  
市指定文化財古文書

慶長9(1604)年に行われた遠州総検地の一環として、川井村で行われた検地(田畑などの面積を計測すること)の写しである。個人蔵/非公開。

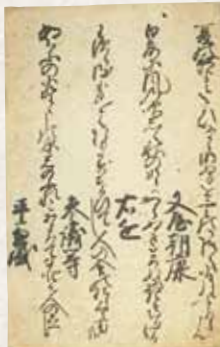


52 遠州周智郡宇刈之内馬ヶ谷村御検地水帳 宇刈  
昭和58年12月22日  
市指定文化財古文書  
慶長9(1604)年に行われた遠州総検地の一環として、宇刈馬谷村で行われた検地(田畑などの面積を計測すること)に関する書状である。個人蔵/非公開。

# 【歴史資料】



60 北条出羽守氏重移葬葬列図 国本  
昭和62年5月11日  
市指定文化財歴史資料  
久野城最後の城主、北条氏重の移葬の様子を伝えている。万治元(1658)年、64歳で亡くなる。非公開。



61 今川了俊歌切 堀越  
昭和62年5月11日  
市指定文化財歴史資料  
海蔵寺を開基した今川了俊は、室町時代の武将・歌人である。小倉百人一首の中から四首を写した自筆の歌切である。非公開。



62 妙日尊儀妙蓮尊儀供養塔 広岡  
昭和62年5月11日  
市指定文化財歴史資料  
身延山二十六世知恩院富桜即上人が正保3(1646)年に妙日寺に造立した供養塔。説明板あり。駐車場10台。



63 裁許状絵図4点 松原  
昭和58年11月3日  
市指定文化財歴史資料  
貞享3(1686)年、中畦堤を境に上輪4ヶ村と、下輪14ヶ村が大争いをした際の絵図(裁許状絵図)。その他、正徳3(1713)年の西崎村と松原村の絵図。延享2(1745)年の浅羽庄井組26ヶ村惣8ヶ村と新池村の絵図。同写しの絵図。非公開。